

## 1 はじめに

平成28年の未曾有の熊本地震後、復旧復興に向けて県内求人は前年度以上に増加した。さらに求人票が企業から学校に以前よりも早期に送付され、採用試験の実施時期も早まり9月下旬に多くの企業で実施されるようになり、企業の高卒採用意欲が高まっていることを反映している。その中で、震災以前より、上級学校への進学には多額の費用がかかるため、本校では進学希望から就職希望に変更する生徒が増加の傾向にある。これを防ぐためには、早くから経済面の計画を立てることがもちろん大事である。

自分に合った将来の働き方を十分見極めて大学や専門学校に進み、希望の働き方に必要な知識や技能、資格を身に付けることも大切である。イメージだけの進路希望ではなく、具体性のある職種や業種の中に、自分の個性を生かす道がないか、しっかり調べてほしい。保護者の意見を含めて、担任や進路指導室に納得いくまで相談することが、失敗のない進路選択につながるだろう。その中で自力進学や学費免除・支援制度等の情報にも行き着くであろうし、その活用のためにも早くからの高い学力養成へ向けた取組や、積極的自発的な諸活動の継続が望まれるのである。「なるようにしかならない」と座して待つようでは、貴重な青春と将来を無駄にしてしまう。夢をもって、自らの人生設計に取り組もう。

進路を考えるのは3年生になってからということでは準備が間に合わない。これは毎年繰り返される3年生の光景である。できるだけ早く低学年の内から自分の将来にきちんと向き合い、学習の習慣と整った生活習慣とを身に付け、学力の向上を怠らないことがなにより重要である。

### (1) 本校のキャリア教育

本校のキャリア教育は、「主体的に進路を選択する能力・態度を身に付け、社会人・職業人として自立する力を育む」ことを目的としている。その実現のために「進路研修会・職業講話・インターシップ・大学出張講義」など様々な体験学習の機会を提供している。また、課外授業や面接・小論文指導など、生徒一人一人の適性や希望を踏まえた個人指導の徹底を図っている。

1学年のうちから自分の適性や希望を考え、常に問題意識を持ち、家族とよく相談しながら、目標の実現を図って欲しい。

本書は、本校生が必要とするさまざまな情報を掲載している。本書をきっかけとしてさらに必要な具体的情報を自分で主体的につかむ努力をして欲しいものである。

### (2) 授業・教科書の活用

大学入試や就職試験では、学科試験や小論文(作文)が課される。

(ア) 学科試験対策は、毎日の授業を大切にすることが基本。

学力向上を図るには、教科書を理解することが基本、教科書は最高の参考書である。

(イ) 小論文(作文)対策は、教科書を丁寧に読むことが基本。そして社会に関心を持ち、新聞を読もう。

医療福祉系や商学系への進学希望者は、「家庭基礎／現代社会／政治・経済」の教科書や資料を熟読。理系の場合は「科学と人間生活／社会と情報」の教科書。教科書には重要な事が分かりやすく載っており実に参考になる。こうして知識を蓄え、「国語総合」で自分の意見を分かりやすく伝える表現力や技術を学ぶ。さらに関心を持った話題はもちろん、将来の分野に関わる話題を新聞などから拾いながら読んでおくことも重要である。

■自らの進路を開くカギは、「授業や教科書」にある。予習・授業・復習のサイクルで、授業の内容を完全に理解することが最も効率的な受験勉強である。